



平成 21 年度新事業創出・販路開拓ネットワーク整備・活用等事業

2009 年 12 月 2 日発行

展示会・見本市レポート第28号

発行：全国商工会連合会

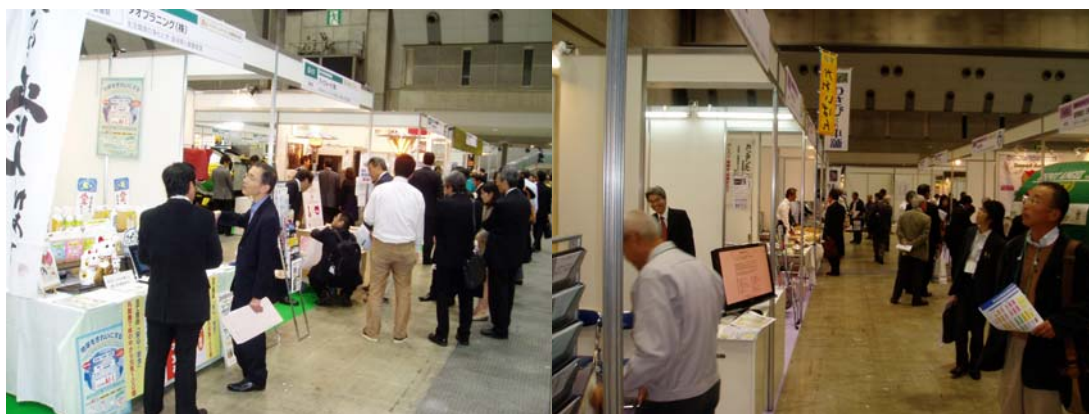
編集：(財) 日本立地センター

協力：全国イノベーション推進機関ネットワーク

中小企業総合展2009 inTokyo(下)

日本最大級の中小企業マッチングイベント

会期	2009年11月4日(水)～6日(金)
会場	東京ビッグサイト
主催	中小企業基盤整備機構
共催	経済産業省中小企業庁、関東経済産業局
後援	都道府県等中小企業支援センター、日本商工会議所、全国商工会連合会、 全国中小企業団体中央会、日本政策金融公庫、商工組合中央金庫、産業 技術総合研究所、全国中小企業取引振興協会、日本弁理士会 等
事務局	(http://sougouten.smrj.go.jp)
出展者数	586社



発行：全国商工会連合会 企業支援部 市場開拓支援課 03-3503-1256

編集・問い合わせ：(財) 日本立地センター 新事業支援部 03-3518-8964

◆ ブース細見 ◆

小型おもちゃ販売を全国展開

★出 展 目 的 :PR

★代表商品の価格:「木琴ナチュラルフォーン」=9,800円(税別)

浜松市の中川木工製作所 (<http://www.nakagawawoodwork.com>) は、木のオモチャの全国販売を展開中だ。

同社は河合楽器のミニピアノ事業の立ち上げに参加するため1979年に創業。少子化に伴って下請けだけでは売り上げ増は期待できないと判断、5年前に自社商品の製造・販売に挑戦してきた。

オモチャの種類は規模の小さな工場のため、「音の出るつみき」「ミュージックトレイン」など、小型のオモチャが中心。販売は子会社の「キッズクリエーション」が担当している。昨年出展した中小企業総合展で、東京の介護機器の販売会社から合計500万円分の受注をしたのを機会に、今後、介護・リハビリ系施設の市場を開拓する方針という。



わさび好きが講じて商品化

★出 展 目 的 :販路開拓

★代表商品の価格:非公開

金沢市のわさびくん本舗 (<http://www.kanazawarakuza.com>) は、「わさびくん」の商品化に3年かけて2008年春に売り出した。

同社は屋外広告の代理店だが、わさび好きが講じてわさびの加工食品事業をはじめた。「まだ緒についたばかりです」と木村徹代表は謙遜する。しかし、展示会では欧米企業の来場者から商品の説明と取引条件を求められることも珍しくなく、木村代表は予想した以上の手応えに満足気。販売は直販のみ。

オーダーメイドのユニットバスに手応え

★出 展 目 的 : 販路開拓

★代表商品の価格: オーダーメイド

埼玉県鴻巣市の有田ユニテム (<http://aritaunitem.com>) は展示会に初めて出展し、「来場者の皆さんにオーダーメイドのユニットバスに興味を持ってもらっています」(丸岡章取締役) と満足気だ。

同社の設立は2000年11月。ブレーカーの組立会社を経営する傍ら、倒産した隣接する特殊技術を持つユニットバス会社の土地と工場を買い取り、新規事業会社を立ち上げた。どんなサイズ・仕様・デザインでも設計・製造できるオーダーメイドのユニットバスは、業界唯一という。

販売は設計事務所からの紹介が中心。ハウスメーカーのショールーム用に使われることも多い。同社の丸岡章二社長は、地元の吹上商工会会長を務める。



お茶のポリフェノールを使ったマスクをPR

★出 展 目 的 : PR

★代表商品の価格: 「カテキンマスク」=980円(税込み)

浜松市の浜口ウレタン (<http://www.hamaure.co.jp>) は、2009年9月に発売した「カテキンマスク」のPRのため出展した。

同社は自動車のシートなどのメーカーだが、地域の異業種交流会でビジネスヒントを得て、産学連携でマスクを商品化したもの。地元の大学が地域の特産品であるお茶の研究に実績を持っていたことが、商品化に結びついた。

カテキンマスクの特徴は、緑茶に含まれるカテキン抽出物質のポリフェノールを使用していること。抗菌性が高く、インフルエンザ予防や花粉症を予防し、繰り返し洗って使用できるという。販売ルートは、地域の薬局、雑貨店とインターネット販売。

商工会・異業種交流会協力の「たまご焼き器」販売

★出展目的：PR

★代表商品の価格：「たまご焼き器」=5,800円(税別)

千葉県野田市の菅原産業 (http://www.sekiyado.or.jp/company/mall/f_sgwr.html) は、野田市関宿商工会IT推進委員会と野田異業種交流会の協力で開発した「たまご焼き器」のPRのため出展した。

同社は金属加工と温度センサーのメーカーで、異業種交流活動を通じた商品開発では、災害時の避難用車いすを商品化しており、今回のたまご焼き器は第2弾。たまご焼き器はときたまご3個分のだし入り・厚焼き・具巻きが、誰でも簡単にできるのが特徴。

販売はいずれの商品も、各地の防災会や老人ホームでPRするほか、量販店で販売展開する。



独自のカレーパンの販路開拓

★出展目的：販路開拓

★代表商品の価格：非公開

金沢市のワールドコーヒー商会（石川県金沢市三馬3丁目242-2、電話 076-243-6677）は、オリジナルのカレーパンの商談を目的に出展した。

本業はコーヒーの製造・販売と卸。2年前、顧客の飲食店に新しいメニューとしてカレーパンを企画提案したのが始まり。

販売拠点はテーマパーク、高速道路のサービスエリア、石川県下の道の駅とカラオケ店。東京市場の開拓が目標。

同社の水上将人統括部長は、「これからは冷凍食品カレーパンとして販売していきます。展示会では販路開拓に力を入れます」と話している。